山櫻會報

第86号
2010年12月

発行者
追手門学院校友会山桜会
会長　川原 俊明
〒540-0008 大阪市中央区大手前1-3-20
追手門学院小学校内
TEL 06-6940-3481・FAX 06-6940-3482
http://www.yamazakurakai.com/
e-mail office@yamazakurakai.com
編集責任・ 生川 紳一郎

OTEMON GAKUIN JUNIOR AND SENIOR HIGH SCHOOL
OTEMON GAKUIN OTEMAE JUNIOR AND SENIOR HIGH SCHOOL

60th Anniversary

中・高等学校（茨木）
2010年 体育祭
クラスデコレーションの部
優勝作品
「桃太郎と鬼」
高校2年6組

両中・高創立60周年記念号

TOPICS

特集
追手門学院中・高等学校、追手門学院大手前中・高等学校
両中・高創立60周年記念
60th Anniversary
歴代校長先生からのお祝いメッセージ

両中・高創立60周年記念 **合同フェスタ** ご報告
2010年6月24日［木］大阪市中央体育館

両中・高創立60周年記念の集い 開催
2010年10月3日［日］大阪城スクエア ご報告

P4
P7

同窓の輪を広げよう 校友会山桜会

校友会 山桜会 会長 川原 俊明

はじめに

御堂筋のイチョウの木が、銀杏（ぎんなん）の実を路上に散りばめています。葉を黄色く染めて、今年1年の締めくくりに向かおうとしています。

学院では、今年、茨木・大手前両中高創立60周年記念の年でした。これを機会に、両中高の関係を見直す議論が深まったことは、学院の将来にとって、とても大切なことだと認識しています。

追手門学院の卒業生組織である校友会山桜会にとっては、各人の卒業校が、小学校だけであろうと、茨木の中高、大手前の中高、いずれであっても、みんな同じ同窓であり、仲間であることに変わりはありません。

校友会山桜会では、以前から、茨木・大手前の卒業生同士の緊密な関係が築かれています。そして、一体としての同窓活動をしています。今年の記念事業の成果は、現役生徒間、教職員間においても、さらに両中高の交流を深めていくことの必要性を痛感できたのではないでしょうか。

両中高創立60周年記念の集い

10月3日開催の「記念の集い」。

学院と校友会山桜会との共催とさせていただきました。お集まりいただいた多くの先生方、卒業生、PTAのみなさん。大阪城を窓越しに眺めながらの懇親は、時の経つのを忘れるくらいでした。

会場は、新築の大手前中高校舎6階の大阪城スクエア。ホテル並みの施設を誇る会場を使用させていただいたため、卒業生の多くは、学院の発展と、歴史の移り変わりを実感されたことと思います。

6月に、大阪市立中央体育館で開催された「合同フェスタ」。

両中高の生徒が2000人近くも一堂に会し、合同で体育祭を楽しんだのは、まさに60年の歴史の中でも、最初の出来事です。その意味でも、今年は、学院にとって歴史的な年と認識しています。

私は、両中高の人事交流、生徒間交流をさらに深めることによって、両校が一つの大きな力となり、追手門学院を牽引する中高になって欲しいと思っています。

楽しい山桜会

学院の運営について、卒業生の立場から関わりを持ち、建設的な意見を提言するのも卒業生の役割だと思います。

山桜会主催の「将来を考える日」。土畑純子渉外交流委員長のもとで例年実施しています。卒業生から中高の現役生徒に対するメッセージ講演であり、先輩としての大切な責務の一つでしょう。

同時に、校友会山桜会は、楽しい同窓の集まりでなければなりません。

6月の山桜会総会。香山恭慶総会実行委員長が、頑張りました。今年は、40歳同窓会を併催。40歳世代の多くの卒業生の参加をお願いしました。社会で、エネルギッシュに活躍する世代が、総会を盛り上げてくださいました。この方針は、次年度も、受け継がれることになりました。

今年の山桜会チャリテイゴルフコンペ。前田要之助会員交流委員長が仕切ってくれました。例年120名近く参加していただいている大ゴルフコンペです。学院の役員さん、卒業生、PTAのみなさんに参加していただきました。毎年の楽しいゴルフコンペは、山桜会名物の一つになっています。

各校の文化祭・スポーツ大会などで、出店するイカ焼きコーナー。この行事も、各校PTAから、完全に認知されるに至りました。イカ焼きの提供により、山桜会と、PTA・生徒さんとの交流が深まっています。

私たちは、開かれた山桜会の実践として、多くの楽しい行事をみんなで企画し、同窓の輪をさらに広げていきたいと思います。

卒業生が、学院になすべきこと

いま、学院は、少子化時代という社会の荒波にもまれています。

しかも、公立校を優先させようとする大阪府政のもとで、追手門学院も、私学の一つとして、存亡をかけた競争を強いられています。この際、母校追手門学院も、伝統に頼るだけでなく、教育機関としてのあるべき姿を見いだしていく必要があります。

私たち卒業生は、今、何をなすべきか。

世間からの学院評価は、ひとえに卒業生の活躍にかかっています。私たち卒業生は、母校に誇りを持ち、社会での活躍の成果を母校に還元すべきでしょう。

120年の歴史をもつ学院の人脈は、大きな財産です。しかも、追手門学院の校風から生み出された家庭的雰囲気の中で、強固なきずなを持つ卒業生が、その子弟を母校に預け、同時に、大学卒業生の就職を支援する、ということが、母校への恩返しにつながるのではないでしょうか。

卒業は、母校との離別ではありません。むしろ、母校を基盤とした新たな出発なのです。

私学追手門学院の卒業生は、学院への関わりをさらに強めていただきたい、と思います。

新年会へのお誘い

年が明けると、恒例の新年会。これによって、山桜会行事が幕を開けます。

今回は、池田賢八郎新年会実行委員長に期待しています。平成23年1月22日（土）リーガロイヤルホテルでの開催です。

例年、数百人という多数の追手門ファミリーに集っていただいております。

みなさんも、ぜひご参加ください。お待ちしています。

平成22年度
山桜会定時総会報告

平成22年度総会実行委員会　委員長　**香山 恭慶**
（小83・大中高26期）

平成22年6月27日（日）大阪城天守閣を一望する追手門学院大阪城スクエア・大手前ホールにおいて平成22年度山桜会定時総会を開催して下さいました。

前日は梅雨の大雨の中、機材を濡らさないように気を遣いながらの搬入作業となり、翌日の天気を危ぶんでいましたが、当日は、梅雨の中休みというべく天候に恵まれご来賓・一般会員を含む約100名の参加者を迎えました。

総会は、小川真史氏（小106・大中高49期）の司会進行役のもと、山桜会会長川原俊明氏（小71・大中高14期）の鳴らす号鐘を合図にスタートしました。会長をはじめとする各役員からの事業報告・事業計画の報告があり、全議案につき議場からの異議もなく円滑な議事内容となりました。

そして総会終了後には、追手門学院の竜田邦明学院長に講師をお願いして「知識を知恵に」と題する特別講演会を開催しました。学院長は、本学院の卒業生（小64・大中高7期）で、現在は、早稲田大学の高等研究所所長および理工学術院教授の要職に就かれています。また英国ケンブリッヂ大学・オックスフォード大学、フランス・パリ大学の客員教授を歴任され、ノーベル賞の選考委員を務められたご経験もあります。そして先年日本学士院賞をご受賞された日本を代表する化学者のおひとりです。この講演会で先生は、ご専門の「天然物有機化学・有機合成化学」の研究がどのように最先端の治療薬開発に役立っているのかという具体的事象を解説されるとともに、世の中の様々な事について幅広い関心を持ち、集積した「知識」を「知恵」に転換して社会の為に利用することの大切さを、我々に判り易い語り口調で説明していただきました。これは、まさに本学院の建学の理念である、「独立自彊・社会有為」の教えそのものであり、その具体的実践方法を教えていただいた気がしました。

そしてその後、懇親パーティーを同ホールで開催いたしましたが、今回新しい趣向として、「40歳同窓会」を同時開催しました。これは、今年40歳になる小・中・高校卒業生の山桜会正会員の皆さん（小94期、大中高37期、茨中17期、茨高37期）を山桜会がお招きして学年全体の同窓会の場を提供するというもので、この呼びかけに応じて対象卒年の皆さん46名の参加がありました。最終学年の担任の先生方もご出席いただき、久しぶりに集う同級生同士、話が尽きることはありませんでした。この懇親パーティーには総勢161名の参加者を数え、参加者の年齢・卒業校の違いを感じることなくオール追手門の集いとして例年以上に華やかにそして賑やかなものとなったと感じました。

また最後には秋山陽彦氏（小59・中2）のリードによる偕行社附属小学校校歌と追手門学院歌を高らかに斉唱してお開きとなりました。

最後になりましたが、本催事にご参加いただいたご来賓、会員の皆様、事前準備と当日の運営にご尽力いただいた山桜会スタッフの皆様そして当日会場を快く提供していただいた追手門学院事務局には心よりお礼申し上げます。

ありがとうございました。

竜田学院長

同時開催の40歳同窓会

追手門学院中・高等学校、追手門学院大手前中・高等学校

両中・高創立60周年記念 合同フェスタ ご報告

追手門学院 両中・高の創立60周年記念として、去る6月24日、大阪市中央体育館（大阪市港区）にて、創立60周年記念 合同フェスタが開催されました。

両中・高創立60周年記念事業のスローガンは「歴史（れきし）環（めぐ）りて 共に創造」となっており、「協力・絆・感謝」のタイトルの下、プログラムが進められました。開会式では、ソルジャーズのチアリーディングによるオープニングセレモニーが盛大に行われ、両校の校旗が共に掲揚され、両校より選抜の吹奏楽チームの演奏にて共に校歌を斉唱しました。

大木理事長、竜田学院長に続き、川原山桜会会長が挨拶され、両校生徒代表の挨拶・選手宣誓へと続きました。その後、両校の運動会で行われている種目を、両校の生徒が互いに競い合っていました。

昼食後には、両校の教員による対抗リレー、教職員・卒業生・保護者による綱引きが行われ、両校のクラブ対抗リレーへと続き、会場はたいへん盛り上がりました。

続いて、両中・高の卒業生によるトークショーが、同じく卒業生である 洪 明花氏（大中高37期）の司会により開催されました。元スキーオリンピック選手 中西 拓氏（茨高38期）、朝日放送の番組に料理講師として出演されていた山田 興助氏（大高28期）、吉村運送社長 吉村 慎吾氏（小82・大中高25期）、本龍寺副住職 土畑 純子氏（茨高25期）の４名が在校時代の姿や現在に至るまでの思いなど、両中・高在校生の代表よりの質問に答えながら進められ、全てのプログラムが終了しました。

広報委員 永田 久史（大中高30期）

歴代校長先生からのお祝いメッセージ

想い出

荒西 昇
（大手前中高・昭和48年～51年）

追手門に就職したのが、昭和26年4月でした。当時の生活は、24時間学校で過ごしていました。午前中の1時限目から午後の6時限までは教室で、放課後は運動場でクラブ活動をし、そして、日が暮れてからは将棋で時間を潰す。夜は宿直室で就寝するといった具合で、学校内での生活が楽しくて楽しくて仕方ありませんでした。従って、家に帰ることは殆どなく、文字通り学校での生活が主でした。今想うと、懐かしい思い出でいっぱいです。

卒業生の方々からも
素敵なお祝いの花束を
たくさんいただきました。

私の忘れがたき思い出

山本 治之
（大手前中高・平成2年～6年）

在職当時の想い出として一番印象に残っている学年がある。それは、18期生である。中高一貫態勢が出来た第1期生であり、私が中学から高校の6年間、担任を務めた学年であり、想い出がいっぱい詰まった学年でもあった。彼等はやんちゃもしたけれど、勉強・クラブ・体育祭・文化祭等、総てのものに一生懸命取り組み、そこから友情が芽生え、やがて家族ぐるみのお付き合いにつながっている者も少なくない。驚くことに、現在も電話連絡を取り合い、悩み、苦しみ、悲しみ、楽しみを分かち合っている話を聞くと、誠に羨ましく思う。また、こんな素晴らしい学年を6年間受け持つことが出来た事は、教師冥利につきる次第である。

大手前中高
14期

川口 正弘
大室 勝一
笠井 和憲
黒田 安彦

就職当時と現在

竹内 孝治
（大手前中高・平成8年～11年）

私が採用された昭和35年当時、大手前地区に小学部、中学部、高等部の三学部が混在していました。校庭では、小・中・高の児童、生徒が入り混じって遊んでおり、教員も仲が良く、新年会・忘年会・スポーツ親睦会などいつも三学部合同でしていて、同じ学院の兄弟・家族のような連帯感があったように思います。その頃は、まだ市電があり、車内でよく児童・生徒・先生方と一緒になったことが懐かしく思い出されます。
現在、私は武庫川女子大学に勤務しています。また、野菜作り、さつき園芸、囲碁、仏法聴聞、阪神タイガースの応援などにも力を入れています。お陰様で健康状態も良く、いくつかの同窓会に出席して、旧交を温めるのを楽しみにしています。

大手前中高
18期

巽　英一
辻　幸
樋口 俊一
池田 八朗
小林 太郎
生川 紳一郎
西岡 眞人
辻本 桂典
松本 行司
杉垣 育代

大手前中高
19期

心に残る思い出

小柴 靖夫
（大手前中高・平成11～12年）

連帯感など豊かな心を養う機会となった楽しい学校行事（スキー・臨海・富士登山・キャンプ等）。厳しい練習の成果として全国大会や国体に多数の部員が選出され、大きな喜びとなったクラブ活動（テニス・スキー）。新たな取り組みの集中体育授業。老朽化した校舎の緊急塗装工事を実施できたことや大幅なカリキュラムの改正が、その後の教育改革推進の弾みになった事。等が、強く印象に残っています。
【近況報告】
結婚40周年を迎えた今年、跡取りの孫が生まれ、我が家はまもなく百歳を迎える母をはじめとして四世代が笑顔で暮らす大家族となりました。、日々、母と孫の世話、介護施設や国際交流でのボランティア活動、園芸等に充実した時間を過ごしています。

大手前中高
30期

渡辺 睦翁
山本 昌彦
上島 利江（高松）
上島 千佳子（須浪）
松下 康子
今泉 正仁
永田 久史
佐藤 彰浩
佐藤 由美（松本）
青山 さつき
笹川 晋也

私の追手門

亀井 哲夫
（大手前中高・平成12～20年）

大学を出て講師2年間を含め、39年間追手門学院に勤務しました。就職当時は古文の崎山先生に万葉集を教えてもらい、物理の辻井先生とは虫や自然について語り合い、楽しく有意義な職場でした。
今想えば、私にとって追手門は生きた百科事典のようなもので、私が淡水魚にハマったのも、生物の講師の先生の影響ですし、今も卒業生の方々から「上町学」や「うなぎ料理」に関する情報や協力をいただいていて、充実した生活を続けています。

小74期
中高17期

私達も60年を迎えました。
同じ佳節の年を御祝い致します。

祝 両中・高創立60周年記念

追手門学院に就職した頃

柴岡 浩平
（茨木中高・昭和60年～63年）

就職したのは、昭和31年、24歳の時だった。配属された高等学部の男女生徒諸君の表情のなんと明るく可愛かったことか！　大阪城のお濠端を通る観光バスのガイドさんが、マイクの大きな声で「こちらは追手門学院と申しまして、関西の学習院とも呼ばれている名門校でございます。」と案内する声に、教室の生徒諸君が、気恥ずかしさも交えて一斉に大爆笑する声が今もこの耳朶に鳴り響いてくる。
追高で40年余りも教師をさせてもらって、ほんと、自分の人生は幸せな人生だった…と、つくづく思う毎日がある。
みんな、有難う！　いつまでもお元気に！

天野 雅充
足立　尚
西内 佳世子（吉原）
中川 厚子（坂東）
茨木中 4期

松本 暁子
小80　大中23　茨高23
松本 修明
小83　大中26
西田 尚子（松本）
小85　大中28　茨高28

50年経っても

橋本 定也
（茨木中高・昭和63年～平成9年）

つい先日、私が新任の頃の古い卒業生のグループから声がかかり、集まった。長い付き合いになっているいつもの顔ぶれである。話が弾んでいる中で、一人が私に向かって云う、「先生、先生って俺らは言ってるけど、本当は違うんだナ。仲間なんだヨ、ワルイけど…」
笑いながら頷いていたが、内心は何とも嬉しかった。この気持ちは説明できない。イヤ、したくないのかも知れない。
こんなことを云うと、話はズッコケてしまいますが、卒業生たちといる時、それは老化防止の最高の妙薬、とゴマかしておきます。

生き方のヒント

石川 陽運
（茨木中高・平成9～13年）

教育困難が叫ばれる昨今ですが、私自身は、伝統ある追手門学院で、教員として時代にも人にも恵まれました。その仕合せに感謝しています。
関わりのあった学年の同窓会では、いつも充実した時間と元気をもらっています。すっかり立派になった彼らの姿を見る時、社会の持つ教育力の凄さを知り、同時に関われたことが嬉しく、誇りに思います。
ここ何年か、「徒然草」の勉強会のお世話をさせていただいています。93段に「人、死を憎まば、生を愛すべし。存命の喜び、日々に楽しまざらんや。」という一節があります。はや古希となった私への生き方のヒントをいただいたと思っています。

謡曲

岡本　平
（茨木中高・平成18年～19年）

60周年おめでとうございます。在職中はご理解とご協力を賜り、御礼申し上げます。
健康に留意し、謡曲などに時間を割いています。謡曲で大きな声を出すことは健康的です。「謡曲15徳」の中にも、「薬無くして、鬱気を散ず」があります。医学的にみても、腹式呼吸による酸素の注入は、エネルギーの再生産に有効であろうし、ストレスの解消に役立ちます。
「行かずして、名所を知る」も謡曲の1徳です。能のワキ僧のつもりで旅をすると、面白いでしょう。謡曲を習い始めて約40年が過ぎます。謡曲も奥が深いので、いつまでも習い続けたいです。
皆様のご多幸をお祈り申し上げます。

60th Anniversary

茨木高
24期

榊原美子(郷原)
釣　千賀子
水内　潔
藤原弘邦

茨木高
32期

市川 幸衛
咲間 穣二
田上 真成
西口 重秋

両中高と同じ歳になりました

相馬 すみひこ
(茨木中高・平成19～21年)

平素のご無沙汰ご容赦下さい。
両中高60周年記念事業に際しましては、学院関係者、山桜会をはじめとする卒業生の皆さまには誠にお世話になりました。紙面をお借りしまして、厚く御礼申し上げます。
近況をお話ししますと、校長職を退いて2年目になりますが、幼小中高全体に関わりながら、とくに学校評価・教員評価・教員研修を中心とした仕事をしています。おかげさまで、この夏には幼稚園のドイツ・フィンランドの幼児教育の視察に同行しました。報告は学院報「リベルタス」18号をご覧下さい。国内でもいくつかの幼稚園や保育園を見学し、最近は幼児教育についての認識を深めました。
学校で、生徒とともに活動した時代が懐かしく、今後とも卒業生の皆さまのご活躍を楽しみにしています。

追手門学院中・高等学校、追手門学院大手前中・高等学校創立60周年記念

「両中・高創立60周年記念の集い」開催 ご報告

平成22年10月3日(日)　午後4時
大阪城スクエア(追手門学院大手前中・高等学校本館6階)にて

『錦城のいらかは高く～♪♪』何百回いや何千回、何万回と歌われ続けて来ただろうか?我々卒業生を初め在校生諸君も含めて数万人に及ぶ関係者が口ずさんで来たのです。小学校、茨木、大手前中高、そして大学に幼稚園と、八束周吉先生の作詞の中に本学の『学び』教育の原点を語り続けてきた校歌なのです。そんな学院の歴史の中、中高60周年を迎えることが出来ました。人で言えば還暦に当たる年、一巡して更に一からの出発の年に、茨木、大手前の合同記念の集いが催されました。

茨木から退職された恩師や現役の先生方、同様に大手前の先生方や両校の卒業生を含め約200名が参加、大木理事長の挨拶にて開催されました。山桜会より川原会長が、両校にお祝金を贈呈した後、吉村教頭(茨木)のスライドによる「両中・高60年の歴史」を披露、途中懐かしい校舎や行事、又、両校の演劇部が全国大会入賞の活躍の映像が写ると参加者から歓声が起こるなど、和やかに式典が行われました。佐々木校長(茨木)と南校長(大手前)による近況報告とお話の中では、お二人とも両校がより協力しあい、お互い良きライバルとして共に頑張って行こうとの強い意志が感じられました。その後、落合学長の乾杯にて懇親会に移行しました。中ほどには、「追手門学院の履歴書」に掲載された方々に、司会の高田薫氏(大手前24期卒)より会場の演壇にてインタビューがありました。

参加者の方々は大阪城を眼下に新しくなった校舎や思い出話に花を咲かせて、竜田学院長の挨拶の後、我々の母校は更に未来に向かっての発展のスタートとなる『記念の集い』として、参加者全員がそんな心を込めて、『栄えある学院、吾らの学院 追手門～♪♪』校歌斉唱にて閉会となりました。

広報委員会　委員長　**生川 紳一郎**(小75・大中高18期)

国際交流推進年

上海万国博覧会
OTEMON TO THE WORLD

追手門デーに参加して

山田 有桂〔片山〕（小81・大中24期）

2010年の夏は例年より暑い夏でしたが、8/30～9/6の日程で上海万博の追手門デーに参加させて頂きました。当初は秋にかかるので、少しは暑さもましか‥と思っておりましたが、何の事はない、日本でも40度近い気温だったので、当然上海も変わる事なく猛暑に毎日見舞われておりました。そんな中、日本産業館にあるJALステージでJAZZをSax&Piano&歌で6日間連日演奏させて頂きました。世界中から万博に訪れているお客様とは言え、やはり圧倒的に本土中国の方が多く、ステージの中で、スタッフでもある追手門大学の中国留学生の方々に少し私のトークの通訳をお願いしてみましたので、現地の方々にはより一層納得し、楽しんで頂けたと思います。改めて、学生や先生方々含め今回の上海万博でのスタッフのチームワークの良さに非常に感激致しました。言葉は通じなくとも、人と人の気持って何処でも通じるものなんだなと再確認させて頂けた素晴らしい時間でした。私の人生の中でも忘れられない最高の思い出になりました。

追手門学院の卒業生であったからこその貴重な体験をさせて頂き、偉大なる先輩方々に感謝の気持ちで一杯です。
ありがとうございました。

日本の心を伝える箏曲コンサート

田中 美香（茨高31期）

成田から3時間、九州上空を過ぎ、海を渡ると、上海「浦東空港」でした。高速の脇に高層ビルが並び、大阪の街と似ていると思いました。
日本産業館JALステージでは、30分間、暑さとライトの熱で坩堝と化した中、演奏しました。音響担当の中国人男性から大きな拍手を頂き、うれしくなりました。その夜は、追手門学院大木理事長、竜田学院長ご夫妻、萩原さんら東京山桜会応援団、山田有桂さんジャズメンバーと小南國（中国共産党御用達料亭）で上海料理をご馳走になり、ピースホテル（1929年開業の老舗デラックスホテル）でオールドジャズバンドの演奏にレトロな気分に浸りました。

東京山桜会応援団

槙本正利さん　柴田容子（小88）　池口小太郎〔堺屋太一〕（小59）　萩原正民（小53）　中沢哲（茨高18）

ステンレス加工のパイオニア
株式会社 精和工業所
代表取締役社長 山下 清一
兵庫県伊丹市北本町3丁目105番地
TEL:072-782-0281（代表）
http://www.seiwa-ic.co.jp
山下 清一　中高 14期

医療法人 信和会
塩見医院
内科 | 循環器 | 在宅診療
理事長 塩見 啓二
大阪市港区市岡元町2-11-4
TEL〉(06)6586-5000
FAX〉(06)6586-5001
塩見 啓二　小85・大中高28期

弁護士法人
川原総合法律事務所
血の通った人間味あふれる事件処理を目指します
弁護士 川原俊明　弁護士 中村信仁
弁護士 稲永泰士　弁護士 菅原謙太郎
弁護士 中村秀樹　弁護士 梅森史子
弁護士 渡邊計之　弁護士 越智信哉
弁護士 吉岡龍也　弁護士 大亀将生
司法書士 有方清一郎
〒530-0047 大阪市北区西天満2丁目10番2号 幸田ビル8階
TEL：06-6365-1065　FAX:06-6365-7265
E-mail:kawahara@e-bengo.com　http://www.e-bengo.com
川原 俊明　小71・中高14期

追手門学院ウィーク 訪問記

永田 久史（大中高30期）

2009年度よりの3年間を追手門学院大学国際交流推進年とし、その一環として上海万国博覧会 日本産業館 JALステージにおいてOTEMON TO THE WORLD「追手門学院・追手門学院大学ウィーク」が2010年8月31日（火）から9月5日（日）までの期間開催され、日中友好・文化交流を期待し、追手門学院の学生達をはじめ多数の追手門学院OB・OGの方々が出演されました。

関西国際空港より飛び立ち訪れた上海浦東空港は、近代的であり個人的な予想を覆され、また空港周辺より上海市内へ向かう途中に見る家並みや景色も同様であり、少なからずカルチャーショックを受けました。偶然　同じ飛行機に乗り合わせることとなった追手門学院大学アメリカ民謡研究部OB・OGの方々と共に、予想を上回る上海の発展に感嘆しきりでした。さて万国博会場を訪れると、先ず来場者数に圧倒されました。人気のパビリオンへ入場する待ち時間は5時間から9時間との情報に、早々に人気パビリオンへの入場を諦めました。そんな中、参加者の方々は各々の思いを持ってステージを盛り上げておられました。日差しの下にいれば数分で汗まみれになる今夏の猛暑の中でしたが、遠く上海の地で、追手門パワーを存分に発揮されていました。

追手門ウィークに参加して

鷲見 文子（小75・大中高18期）

9月4日・5日の両日、大手前中高PTA（OG）コーラスのメンバーとして、そして、ライブハウスやイベントで活動している3人のユニット“Dream Mama”の一員として、追手門ウィークのステージに出演させていただきました。

PTA（OG）コーラスは美しいハーモニーをめざし春から練習を重ね、当日は、日本の唱歌メドレーとヒット曲6曲を熱唱。Dream Mamaは《幸せはこぶ楽しいステージDream Mama》と題し、オープニングに「幸せなら手をたたこう」を中国語で披露した後、軽快なポップス8曲を歌いあげました。

オープンステージのため、外気の暑さとライトでみんな汗だくになりましたが、中国の人たちが楽しんで聞いてくださっている様子が直接伝わり、いつまでも忘れられない素晴らしい思い出となりました。

一般貨物自動車運送事業
東北運輸倉庫株式会社
取締役会長
佐藤 文一郎
〒578-0953
大阪府東大阪市本庄2丁目1番15号
TEL.072-964-0200
FAX.072-964-1992
E-mail tohoku@silk.ocn.ne.jp
佐藤 文一郎　小63・中高6期

京橋駅前（JR・京阪・地下鉄）
歯列矯正専門
子供～大人の方の歯並び相談
ORTHODONTIC PRACTICE
指定自立支援医療機関／顎口腔機能診断施設
京橋矯正歯科センター
くりおか矯正歯科クリニック
tel.06・6358・4182（ヨイハニ）
院長　栗岡宏行
●日本矯正歯科学会認定医
●アメリカ矯正歯科学会国際会員
〈診療時間〉
火曜～金曜 10:30～13:00 15:00～19:30
土曜 9:30～13:00 14:30～18:30
〈休診日〉
日曜・月曜・祝日
大阪市都島区東野田町2-9-7 K2ビル3F
http://www.kurioka.com
栗岡 宏行　大中高 37期

忘年会・新年会、ご予約承り中。
桃谷樓
青青
ヒルトンプラザ WEST 店
ヒルトンプラザウエスト 5F / TEL:06-6342-5657
阿倍野賓筵
近鉄百貨店阿倍野店 10F / TEL:06-6625-2373
大丸心斎橋店
大丸心斎橋店 8F / TEL:06-4704-3940
新中国料理
高島屋大阪店 9F / TEL:06-4397-0015
桃谷樓は食の安全を考えています
小107・109・113期　PTA

学校便り 小学校

追手門学院小学校の国際交流

追手門学院小学校　教頭　田邊 雅一

追手門学院小学校では、設立当初より日本の国際化を予見し、幼少期からの外国語教育の必要性を感じ、英語の授業を行ってきました。本年度からは、英語授業のさらなる充実をはかるため、ネーティブ教員を4名に増員、子どもたちが1時間のうちでより多く本物の英語に触れることのできるよう1クラスを2分割し少人数での授業を実施しています。カリキュラムも聞く・話すを中心に楽しい英語授業になるよう工夫しています。

学校内での英語授業だけでなく、その実践の場として、また、教育目標である異文化体験を通して国際人の資質を高める場として、アメリカ合衆国（ハワイ州ホノルル市）のマノアスクールとオーストラリア（クイーンズランド州ブリズベン市）のホランドパークステイトスクールとの間で長年、学校訪問・ホームステイを中心とした国際交流を行っています。

今年も3月と7月に合わせて50名の子どもたちが、ホランドパークステイトスクールを親善訪問しました。

ホランドパークステイトスクールはブリスベンのダウンタウンから少し離れた住宅地にある公立の小学校です。充分な準備期間を置いたのち1995年より子どもたちの訪問を始めました。現在はホランドパークスクールからも児童が訪れる相互訪問の形にまで交流は発展しています。今年で15年になる両校の親善交流に対しクイーンズランド州教育省から長年の着実な交流発展に対する表彰もしていただきました。

子どもたちは、到着日と最終日を除きホランドパークスクールの保護者の家庭に一人で5日間ホームステイをします。日本語の通じない中ですが、身振り手振りも含め6年間習ってきた英語を使い、一生懸命コミュニケーションをとり楽しく元気に学校生活・家庭生活を満喫してきます。その様子を見ていると改めて小学生の時期の子どもたちの適応能力の高さや思考の柔軟性には驚かせられます。特に最終日のホームステイ先の家族との涙、涙の別れの場面を見ると、小学生の時期の頭ではない体全体・心と心の触れ合いは、とても素晴らしい国際理解教育であると思います。

今年度からは、アジアに対する国際理解も深めてほしいという願いから、大韓民国（ソウル市）にある崇義初等学校との児童の交流を計画しております。ますます、充実する追手門学院小学校の国際交流にご期待下さい。

小学校の国際交流については、小学校発行の学校報に詳しく載せておりますので、ぜひご覧ください。

OKAJIMA TAXI
恩加島タクシー株式会社
代表取締役　越智 忠正
〒551-0021
大阪市大正区南恩加島5丁目5番4号
TEL.06-6551-5110（代表）
FAX.06-6552-1322
越智 忠正　小78・大中21期

壺内歯科
なんばCITY診療所
院長　壺内 豊
お問い合わせは
〒542-0076
大阪市中央区難波5-1-60 なんばCITY東ビル2F
TEL:06-6648-1177
http://www.myclinic.ne.jp/tsubouchi_dc/
壺内 豊　小85・茨中 8期

石津税務会計事務所
税理士　石津 良行
〒577-0045 東大阪市西堤本通東3-5-12
TEL:06-6787-1076
FAX:06-6789-6277
E-mail:yoshiyuki.ishizu@tkcnf.or.jp
石津 良行　小72・中高15期

学校便り　大手前中・高等学校

歴史還りて（めぐ）ともに創造

～山桜会の皆様に感謝して～

追手門学院大手前中・高等学校　校長　南　登章生

中高創立６０周年の年、皆様本当におめでとうございます。

この記念すべき時、奉職させて頂くこと、そしてこの年、発祥校の校長をさせて頂くことを感謝しています。また、平素よりの山桜会の皆様の熱い思いのお支えを大きな力と感じ、いつも元気を頂いています。

10月3日。本館の6階大手前スクェアで、「創立60周年の集い」を午後４時から開催させて頂きました。会場には、懐かしき顔顔の多数のご参集、歓談に花咲き、盛大な集まりとなりました。本校では、折しも錦城文化祭の最終日、この集いの前に、本館のご見学もかねてのご来校も多く、昔と変わらぬ大らかで温かな生徒達の元気な挨拶や文化祭の賑わいにもご感動頂きました。

思えば、創立50周年からこの10年。経済状況や教育行政の大変革、そして本校もコース制から特進・進学クラスへと、名門伝統校の威信をかけた教育改革を進め、高校3年生がいよいよ教育改革の元年。生徒の頑張りに3月の結果を楽しみに、日曜祝日も登校しての学習に励んでいます。ご期待ください。

錦城体育祭

子どもたちの表情をしっかり見つめ、培われた伝統の学校行事等で、温かく特性を伸ばす、心の育成のための「心の教育」を土台とした「不易」の教育をより推進し、大学進学教育へ専心しています。

6月には、大阪市立中央体育館での両中高の生徒が一緒に集う「両中高合同フェスタ」。生徒達の日々の精進の姿勢をご披露する事も出来ました。

近年、保護者懇談の機会も年3回は必ず実施するなど、保護者の皆様との対話の機会を多く持つことを考えています。年度当初の学年会も、4月には学年の年間目標も提示しご協力をお願いするよう心掛け、高い出席率となっています。

これらのことは、「合同フェスタ」や「錦城祭」ー文化祭1500余名、体育祭510家庭（現生徒数約950名）とご参加が多く、子どもたちの生き生きした日々の成長の姿が楽しみでさらに見たいという期待度が高くなっていることが伺え、本校の教育への関心と期待が増していると実感しています。

今、学校では「学校評価」の公表が義務化され、ホームページでも掲載しています。お陰様で、年々保護者アンケート等の満足度は高数値となりつつあります。

いよいよ、中学・高校入試が本番となります。是非のご受験そしてご入学をお待ちしています。

錦城文化祭

贄田　肇　　大高19期

嶋野 義夫　　高17期

学校便り 中・高等学校（茨木）

近況報告 安威祭を中心に

追手門学院中高等学校（茨木） 総務部長 薗村 栄子

校友会山桜会の皆さま方には、日頃より本校の教育活動に対しまして、ご理解とご協力をいただき、本当に有難うございます。皆さまのご支援に心より感謝申し上げます。

本校では、新しい教室棟の整備も進み、快適な空間が整いました。久しぶりに来校した卒業生との懐かしく和やかな光景が交流スペースによく見受けられるのも嬉しいことです。学習、進学に力を入れ、変化する社会・保護者の方々のニーズにも合わせた学校教育であり続けたいと、教職員ともに力を合わせて取り組んでおります。

従来の行事の見直しも進み、高校体育祭は6月に、中高文化祭は9月に実施となりましたが、卒業式も含め、自治会活動では伝統を引き継ぎ、活気にあふれた取り組みが続いています。高校体育祭では1・2年生が各クラスで高さ4m、幅6mの範囲で立体のデコレーションを作り、応援席を飾ります。本会報の表紙作品はこの6月に作製し、入賞したものです。文化祭アトラクションは中高ともに舞台上でのパフォーマンスが主流で、工夫を凝らしています。取り組む過程で培う仲間意識が、学校生活・学習姿勢に好影響をもたらすことを願ってのものです。

一方、旧校舎の跡地で広くなった中庭は、芝生のゆったりとした空間に生まれ変わり、その芝生のグリーン上で今年のバザーを行うことができました。

来年度はコース制の再編も行います。『独立自彊 社会有為』の学院理念に照らし、「学力」及び「人間力」を一層高めることに力を入れます。勉強だけでなく、クラブ活動やスポーツ活動でも活躍できる人財を育成することを目指しています。この春から新たに囲碁・将棋、茶道・華道のサークルも立ち上げましたし、来年度はガンバ大阪のユースチームメンバーが高1から本校に入学してくることになりました。生徒同士が刺激を与えあい活力あふれる学校生活になることを期待しています。

ホームページの内容も整備してきましたので、『保護者のページ』を開いていただければ、学校での行事や様子等、近況はいつでもご覧いただけます。また、近くにお越しの節は、是非お立ち寄りください。旧校舎ジオラマ模型と、両中高創立60周年記念の年表パネルが教室棟玄関、昇降口でお待ちしています。

表紙で紹介された「桃太郎と鬼」

片山・黒木・平泉法律事務所

弁護士 片山 登志子　弁護士 黒木 理恵
弁護士 平泉 憲一　弁護士 村岡 泰行
弁護士 坂東 俊矢　弁護士 齋藤 勝
弁護士 椚座 三千子

〒541-0041 大阪市中央区北浜2-5-23 小寺プラザ7階
TEL:06-6223-1717　FAX:06-6223-1710

平泉 憲一　茨高25期

思いを込めたスイーツを。

joël ジョエル

営業時間 ［平　日］11:00～21:00
［日祝日］11:00～20:00
［金曜日］11:00～22:00
年末・年始休み 12月31日（金）～1月3日（月）

大阪市中央区北浜4-3-1 淀屋橋odona 0102 1F
tel:06-6152-8780（8781） fax:06-4706-7710

木山　寛　小85・大中高28期

一般歯科
小児歯科
矯正歯科
口腔外科

医療法人社団
わかば西川デンタルクリニック

理事長 西川 良彦

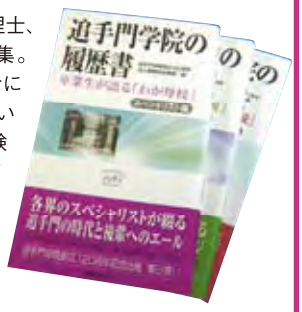
〒659-0093
兵庫県芦屋市船戸町3-23 芦屋三祐ビル1F
TEL.0797-21-1108 FAX.0797-21-1109
0120-059-118（イイハ）
http://www.wakabanishikawa.com
ISO 9001:2008認証取得医療機関
厚生労働省指定臨床研修施設
CTセンサー設置医療機関

西川 良彦　茨高18期

発刊のご案内

追手門学院創立120周年記念事業の一環として出版された卒業生によるエッセイ集 第三弾

追手門学院の履歴書～卒業生が語る「わが母校」【スペシャリスト編】



第3弾『スペシャリスト編』は、弁護士、公認会計士、税理士、司法書士、社会保険労務士の方々によるエッセイ集。追手門という学舎で過ごした青春時代を振り返り、今に息づく教訓や卒業生としての誇り、そして後輩への熱いメッセージが詰まった一冊です。また、体験談や試験に取組むアドバイスなど学生にとって「生きた情報」が載っています。

出版年度2010/06　日経大阪PR企画出版部

定価 ￥1,000（税込）

◆第一弾【企業人編】出版年度2008/03　◆第二弾【文化人編】出版年度2009/03

●お求めは、下記までご連絡下さい。

ナカニシヤ書店　TEL072-641-6139　FAX072-641-6147

【インターネットで注文できます】 http://www.e-hon.ne.jp/SHOP65215

先生と本を囲んで

地図の読み方事典

池田 晶一　他著
（大手前中高元教諭）

平成21年12月20日発行
東京堂出版

定価 ￥2,625（税込）

私たちは、平成22年7月24日（土）に恩師池田晶一先生の出版祝いに駆けつけました。
先生の出版された本は、天皇旗や世界標準子午線がカラーで掲載された地図等が含まれていて地理に興味が持てる素晴らしい本です。

（大中高31期）

将来を考える日 開催の報告

涉外交流委員会 委員長
土畑 純子（茨高25期）

6月19日(土)、追手門学院中・高等学校で『将来を考える日』が行われました。今回で4回目となりました。各分野で活躍している追手門学院卒業生の15名の方々に講師をしていただきました。

中学生と高校1年生が、興味ある職種を選択し、それぞれの教室に分かれて、熱心に講話を聞いていました。映像を見たり、実際にアロマ作りの体験などを交えた大変興味深いものでした。

大手前中学校では、今年は7月17日(土)に第6回目の「将来を考える日」が開催されました。5名の講師を迎え各学年ごとに共通の講話を聞きました。大阪城スクエア、体育館、視聴覚教室に分れて熱心に講師の話を聞いていました。

今回も、快く講師をお引き受けくださいました皆様方に、厚く御礼申し上げます。今後とも教育支援活動に、ご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

講師の先生　（順不同・敬称略）

中高等学校（茨木）	
氏　名	職種・業種
宇野幹雄	劇場支配人
大賀淳行	飲食店経営
改正淳子	アロマセラピスト
門井貴弘	社会保険労務士
北尾　悟	大学教授
草田和子	幼稚園教諭
程　一彦	料理研究家
永田義和	箕面市議会議員
西林律子	ピアノ講師
平泉憲一	弁護士
深田　壮	司法書士
寶來扶佐子	福島天満宮　宮司
細田みぎわ	建築士
水内　潔	工業研究員
横井　徹	歯科医長

大手前中高等学校	
川原俊明	弁護士
木山　寛	パティシエ
長友滋尊	公認会計士・税理士
馬場耕一郎	保育園　園長
横井　徹	歯科医

福島天満宮
(学)梅風学園
(社)日本工芸会正会員
寶來 扶佐子
〒553-0003
大阪市福島区福島二丁目八番一号
TEL〇六-六四五一-五九〇七(代)
FAX〇六-六四五一-五九〇六
アトリエ〇六-六二四四-一八五一
http://www.tenmangu.com
E-mail:fusako@tenmangu.com

寶來 扶佐子　小77・大中高20期

サト レストランシステムズ 株式会社
代表取締役兼執行役員社長　重里　欣孝
〒590-0001　大阪府堺市堺区遠里小野町一丁3番111号
Tel.072-227-5901
www.sato-restaurant-systems.co.jp

重里 欣孝　大高24期

マンション管理・入居斡旋
収益マンション売買・建築コンサルタント
タイセイ
会長
辻　田　四　郎

株式会社タイセイシュアーサービス
〒534-0021　大阪市都島区都島本通1丁目4-20
電話：06-6927-2234／FAX：06-6927-2771
http://www.taisei-sure.co.jp/

辻田 四郎　小67・中10期

追手門学院 同窓会通信

ご報告 追手門学院小学部63期ろ組クラス会 2010年5月15日（土）

5月15日（土）開催、参加者16名、京都在住のK君の案内で、好天気の下、京都加茂川添いの鴨街道に並び、葵祭を間近でジックリと見学、続いて京都市立植物園をユックリ散策した後、京都ホテルで懇親会を開き、楽しい一時を過ごしました。
私達のクラス会（デンスケ会）は小学校を卒業した翌年（中学1年）から始まり、それ以来1回も休むことなく今日まで続いていて、来年還暦を迎えます。
浜守　義久先生（デンスケ）他8人が物故者になられましたが、住所不明の3人を除き、毎年39人に連絡を取り、近年では毎回15,6人前後が参加しています。

2010年幹事：水野　昇

ご報告 小71期・中高14期　合同同窓会 2010年10月30日(土)

世話好きな仲間がいると、同窓会も活発になります。
私たち小71期・中高14期生は、川口正弘くんをはじめ、献身的な追手門好き人間が沢山いるおかげで、他の期に負けないくらい同窓の集いが活発です。
3年前に、100人近くの同期を集めて還暦同窓会をやったばかりなのに、またしても「合同同窓会」が、10月30日、ヒルトンホテルで開催されました。
7人の先生方を含め、80名弱の仲間が全国から集まり、二次会のみならず、三次会までも、多くの仲間が学生時代の思い出を語り合っていました。

川原 俊明

ご報告 追中（茨木）1期生&4期生　合同【出口敏雄学級】同窓会 2010年9月19日（日）

【1期生】

過日、茨木学舎高等学部21期生の同窓会の折、池内先生より茨木学舎中学部4期生が出口先生のお墓参りをされる事をお聞きし、1期生もどうかと御誘いを受け、卒業生に声を掛け、21名中7名が参加させていただきました。少し寂しい少人数の再会でしたが、4期生の皆さんのおかげで、楽しいひと時を過ごす事ができました。4期生の皆さんありがとうございました。

代表幹事：北川雅一（茨中1期）

【4期生】

初めての合同同窓会を9月19日（日）に開催しました。お昼から、15年前に亡くなられた出口先生のお墓参りへ（先生の奥様と娘さんと共に:お世話になりありがとうございました）。『これからも見守っていて下さい!』夕方から、梅田の中華料理店「桃谷樓」で一次会。始まった途端から大盛り上がり。なんと、池内光宏先生（無理言ってご参加頂き、感謝です）は、熱唱しすぎて注意されるほど。二次会は、同級生のバーへ流れ込み（定員12名に、27名）。1期生の先輩が気さくに話して下さり、大々盛り上がりで、翌日まで。
追中バンザイ!

代表幹事：足立　尚（茨中4期）

ご報告 追手門学院小学校84期生同窓会 ★ 同窓会で給品部を再現!!!

平成22年10月3日(日)、ホテルメトロThe21にて同窓会を催しました。伊勢田喜昭先生、吉川昭一先生をお迎えし、22名が集いました。
「給品部」を会場内に再現、懐かしい商品を並べ、その売上を学院に寄付する事を企画しました。校名入り鉛筆・下敷き・筆箱・筆算練習帳・制服キューピー人形等、事前に学院に出向き購入させて頂きました。またオリジナルでDECOチョコ(チロルチョコ)の製作もしてみました。幹事の6名はスモックと赤帽を着用、みんなの笑いを取りながらお出迎えをし、五十路になった同級生達は、一様にあの頃に戻って話は止まらず、最後は校歌を全員で合唱して、楽しいひとときを過ごせました。給品部の再現に際し、快くご協力くださいました学院関係各位、山桜会事務局の皆様に心より御礼申し上げます。

幹事：関野 佳世子(池田)

ご報告 追手門学院小学校　第86期生同窓会を終えて　2010年8月21日(土)

過日、8月21日(土)に大阪中ノ島リーガロイヤルホテルにて我々追小86期生の同窓会を開催させて頂きました。当日は、恩師である大曽先生、梶田先生、吉川先生、伊勢田先生とともに卒業生50名が参加しての盛大な会となりました。中でも大曽先生は奥様に付き添い頂き車椅子でのご参加を賜り、その心遣いに大変感動致しました。また、懇談中には現在の小学校の様子や就学中の思い出の写真をスクリーンに映し出し、お世話になった学校、友達のことを想いながら感謝の念で胸が熱くなりました。
同窓会自体が8年ぶり、卒業して35年の節目に当りますが、こうして楽しく「小学校の同窓会」が出来るのは希有なことでありまた有難く、ここに集まれた我々は本当に幸せだと実感しました。そしてこの先も同窓会に笑顔で集える朗らかな人生をみんなが歩み続けられることを願って止みません。日々多忙な中、当日お越しくださった先生方、卒業生のみなさん、本当にありがとうございました。また、幹事9名のみなさんにはあらためて御礼申し上げます。お疲れ様でした、そして、心からありがとう!

代表幹事：下　正晴

ご報告 大手前中高等学校36期同窓会　2010年3月22日(祝)

2010年3月22日に大阪キャッスルホテルにおいて、大手前中高等学校36期同窓会を開催致しました。
20年ぶりの同窓会に、50名が集まり大変盛り上がりました。小椋先生、稲葉先生、仲野先生にもご出席いただき、出席者全員が喜んでおりました。40歳を越し、皆様公私共にお忙しい事と思いますが、今後もより良い同窓会を定期的に開催出来ればと思っております。

幹事：津田敬太郎・仲野(上田)悦子・藤本(棚沢)麻紀
　　小西眞義・村上(北口)昌子

ご報告 追手門学院小学校　第100期生同窓会　2010年8月14日(土)

8月14日(土)、ウェスティンホテル大阪にて小学校100期生の同窓会を開催致しました。6名の恩師の先生方、54名の同窓生に参加していただきました。皆、仕事で忙しい中、また遠方より駆けつけていただき、懐かしい話で会も大変盛り上がりました。同窓会としては12年振りの開催でしたが、すでに家庭を持つ人も増え、子供が同小学校に通うという方もいらっしゃいました。その後、2次会・3次会と、夜遅くまで懐かしい話で盛り上がっていたようです。また来年!という声も上がっていましたが、どうでしょう?これからも定期的に同窓会を開催していけたら、と思います。また、今回の開催を機に100期生のメーリングリストを作成いたしましたので、100期生の皆様の参加をお待ちしております。　(100期生メーリングリスト：http://groups.google.co.jp/group/outemon100)
最後に同窓会の開催にご協力いただいた幹事の皆様、山桜会の皆様に御礼申し上げます。

代表幹事：山田裕史

ご報告 大手前中高　陸上競技部　同窓会　2010年8月29日（日）

平成22年8月29日、大阪城スクエア大手前ホールにて、大手前中高陸上競技部の同窓会が開催されました。長年顧問を勤められ、3年前に御勇退された、田中昭安先生の慰労会を兼ねて開催されたこの同窓会は、先生が赴任された18期生から、昨年の卒業生58期生までの陸上部OBが一同に集い、また64期生までの現役の陸上部員の皆さんにもご参加頂き、半世紀近くに渡る、総勢100名を超えた盛大な会となりました。当日はOB一同から、特製横断幕が、24期OBの皆様よりクラブ旗が、それぞれ現役部員の皆さんへ寄贈されました。また、南校長先生にも冒頭ご挨拶を賜りました。

代表幹事：多田博資（大中高34期）、間宮規勝（小83大中茨高26期）

ご報告 追高（茨木）生物部同窓会　2010年8月22日（日）

高校生物部同窓会が本年8月22日に開催されました。2期生から39期生（以降廃部）の部員と歴代及び現役教職員の皆さんが、北海道から大分県に至る全国より集まりました。理科棟生物実験室での午前からの一次会は54名、大阪駅前第三ビルでの夕方からの二次会は41名、合わせて66名の参加でした。数年先に取り壊しになる理科棟に残る生物部関係資料をどうするかについて話し合うのが主目的でしたが、数十年ぶりの再会や、期を越えての繋がりを感じる機会になりました。来夏も引き続き標本整理と親睦を兼ねて同窓会を開きます。

代表幹事：白木 江都子（小67・中高10期）

予定 大手前中・高29期同窓会のご案内

日時：平成22年12月26日（日）午後2時00分　開宴
会場：追手門学院 大阪城スクエア（追手門学院大手前中・高等学校本館6階）
TEL.06−6942−2788
会費：8千円（参加人数により変わりますので、多めに見積もっています）
幹事：松田 泰光　jetsyaso@gmail.com

予定 大手前中高34期同窓会のお知らせ

大手前中高34期生の皆さん待望の同窓会を開催いたします。
来年の5月下旬頃を予定していますので、ご参加宜しくお願いいたします。
詳細は決まり次第連絡いたします。
幹　事：多田 博資　中田 裕昭　中川 一美（西田）
連絡先：h_tada@horitomi.co.jp

株式会社 ベッセル
代表取締役
田　口　順　一
〒537-0001
大阪市東成区深江北2丁目17番25号
TEL(06)6976-7771(代) FAX(06)6971-1309
http://www.vessel.co.jp/

田口 順一　小78期

外科・内科・胃腸科・肛門科
リハビリテーション科
香山医院
院長　香山 仁志
〒552-0007　大阪市港区弁天4-15-14
TEL:06-6573-3000
http://www.shop.upstart.co.jp/kayama
地下鉄中央線、JR弁天町駅　徒歩5分

香山 仁志　小85・大中高28期

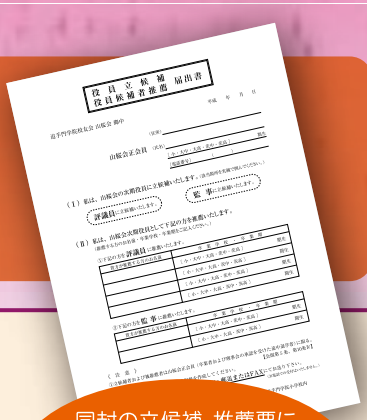
OpenNetkarte
（オープンネットカルテ）
【病院が作ったシンプルで使い勝手の良い電子カルテです】

◆同一患者様の情報をユーザー毎の自由な画面レイアウトで参照可能
◆インターネットを利用した患者様へのカルテ開示が可能
◆クリニック〜300床規模の病院様迄対応可能（導入実績有り）
☆システム選定/導入に関してお困りの際は、お気軽にお問合せ下さい。
オンラインデモサイト利用登録受付中！
http://www.tdi.co.jp/products/medical/index.htm
tdi 情報技術開発株式会社（JASDAQ上場）グループ
TDIコンサルティング・ソリューションズ株式会社（担当：鮫島/久保田）
03-3372-9788　Iryo-G@tdi.co.jp

小122　PTA

みんなの同窓会、ぜひお手伝いください。

あなたも立候補しませんか？
ふさわしいと思う方の推薦をお願いいたします。



同封の立候補、推薦票にご記入のうえ、平成23年1月31日までにFAXまたは郵送にてお送り下さい。

山桜会は追手門を愛する卒業生たちによる完全なボランティア活動によって成りたっています。

山桜会役員任期満了に伴う選考手続について

いつも山桜会の活動にご理解ご協力をいただき、誠にありがとうございます。
さて、山桜会は、山桜会会則に基づき運営されている追手門学院小学校、中学校、高校の卒業生で組織する校友会としての同窓会です。世代を超えた卒業年度の同窓を一体化するためにも、それぞれの各学年代表の立場を担っていただける方々には、ぜひ評議員として参加していただき、山桜会活動をご支援願いたいと思っております。自薦他薦により推薦された方々の中から、卒業年度のバランスを考慮し、先輩後輩のみなさんに幅広く参加していただければと願っております。

正会員の皆様へ

任期満了に伴う山桜会役員の改選が行われます

現山桜会役員（評議会、監事）の任期が平成23年3月31日で満了します。会則第10条4項に従い、任期中に次期評議員、監事を選出する必要があります。下記の要領で次期評議員、監事の候補者を募りますので、正会員の皆様にはよろしく御推薦下さいますよう御願い致します。

次期評議員、監事にふさわしいと思う方を、出来るだけ多くの学年から推薦して下さい。自薦（自ら立候補）も歓迎します。

次期役員推薦要項

1. 正会員が自ら立候補する
2. 正会員が正会員を推薦する（複数可）
3. 同封の推薦用紙を用いる
4. 締め切りは平成23年1月31日
5. 封書又はFAXにて山桜会事務局へ（電話は御遠慮下さい）

封書又はFAXはコチラまで

〒540-0008
大阪市中央区大手前1-3-20 追手門学院小学校内
山桜会事務局宛　FAX.06-6940-3482

推薦受付
［受付期間］
会報到着日より **平成23年1月31日** 必着　※同封の推薦票を使用のこと

↓

選考委員会による選任

↓

ご本人に承諾を得る

↓

評議員・監事を委嘱

↓

評議員会で理事を選出

↓

理事の互選により会長を選出

↓

会長が副会長を委嘱

YUKITA
Global Active Technology Ecology

太陽光発電ワイヤリングシステム
電力ケーブル・ワイヤーハーネス
エコ電源コード・エコケーブル・防水コネクター
行田電線株式会社
本　社/ 〒536-0001 大阪市城東区古市1丁目2番11号
TEL:(06)6933-5811 FAX:(06)6934-7335
支店/東京　海外/香港・上海・外高橋（上海）・シンガポール
海外工場/　上海・滁州・江西・深圳
http://www.yukita.co.jp/
行田 貞生　小68・中高11期

医療法人　仁友会
桜之宮クリニック
院　長　消化器内科　秋山　陽彦
副院長　整形外科　石川　正士
糖尿病・代謝内科　石川　哲也
整形外科　外科　内科
消化器内科　糖尿病・代謝内科
〒536-0008 大阪市城東区関目3-2-22
京阪電車 関目駅　南200m
☎06-6939-2851
http://sakuranomiyaclinic.web.fc2.com/top.html
秋山 陽彦　小59・中2期

アルファロメオ新大阪
（八光カーラウンヂ株式会社）
HAKKO CAR LOUNGE CO.,LTD
代表取締役　池田 賢八郎
本社：八光カーラウンヂ株式会社
大阪府大阪市淀川区宮原5-6-27
TEL：06-6395-3535
FAX：06-6395-7395
営業時間：月～土　9:00～18:00
定休日：日曜日・祝日
ショールーム：アルファ ロメオ新大阪
大阪府吹田市南吹田5-13-22
TEL：06-6388-0101
FAX：06-6388-0201
営業時間：月～土　9:00～19:00
日・祝　10:00～19:00
定休日：火曜日
http://www.hakkogroup.co.jp/
池田 賢八郎　大中高47期

栄光の53期生の終焉 ～山本英二君を偲んで～

前東京山桜会副会長 **萩原 正民**（偕行社学院53期）

山本英二君は、昭和11年4月に53期生として、大阪偕行社附属小学校に入学した同級生です。入学試験の倍率は5～6倍、同級生は、池口金太郎君（堺屋太一氏令兄、元大蔵省北陸財務局長）、垂水公正君（元アジア開発銀行総裁）と錚々たる顔ぶれが揃い、各界の第一人者を輩出しました。垂水君や私は陸軍軍人の子弟でしたが、「外野組」と呼ばれた経済人の子弟も多く、京阪電車のトップの子息であった山本君は、その代表格でした。山本君の母上は、総合商社八木商店の「こいさん（末娘）」で、戦争中でも鼓、乗馬や社交ダンスを楽しまれ、参観日には洋装に帽子姿で学校に来られる美しい方でした。山本君は優秀で、ろ組の副級長を務めていました。私たちは昭和17年に第二山水中学校（大阪偕行社附属中学校から改称）にともに進学、戦況がいよいよ厳しくなる中、私は海軍に志願しましたが、山本君は学徒動員の工場での勤務後に自習を続け、旧制第三高等学校から慶應義塾大学経済学部に進学、戦後は大同海運、ジャパンラインで役員まで勤められました。

山本君の真骨頂は、定年後に奥様ともどもエストニアに赴かれ、日本語を教えるボランティアとして活躍されたことです。エストニアに桜を贈る運動も展開され、私たち同級生も協力しました。昨年10月に胃がんが判明、肝臓にも転移していて、余命を悟った山本英二君は、病院をぬけ出して、東京山桜会会長職を山根先生に託し、身辺を整理、今年7月、菩提寺である京都・相国寺の墓地の整理に出かけられ、帰京の翌日に入院、10日後に亡くなられました。最後まで一度も弱音を吐くことなく、「もう一度エストニアに行きたい」と言い続けられていたそうです。「社会有為」を体現された、見事な生涯でした。　合 掌

ご挨拶

東京山桜会　新会長 **山根 雅昭**（小71・中高14期）

第53回総会において、山本英二前会長から引き継ぐことになりました。私は、1975年に東京大学医学部を卒業し、16年間の大学勤務と17年間の病院勤務を経た後、現在、医療法人社団敬雅会理事長として、神田（山根耳鼻咽喉科）と浜松町（かたつむりクリニック）で耳鼻咽喉科医院を運営しております。

山本前会長は、就任のご挨拶で「若い会員に喜ばれる」会にしたいと抱負を述べられ、また、当会発足時からの主目的の一つであった若い在京会員を手助けするため、会員の絵画、写真、音楽などの芸術活動を支援してこられましたが、引き続き、会員の活動を広く知ってもらうようお役に立ちたいと思います。

偕行社附属小学校を根幹とした追手門学院の長い歴史の中で、各人それぞれの一時期を過ごした同窓生が、老いも若きも寛ぎと楽しみを求めて集うことができるような会として活動していきたいと思います。

形式的には、山桜会東京支部でありますが、入会金や年会費は徴収せず、自由に出入りしていただけるよう運営して参ります。特に、進学、就職、結婚などで東京周辺にお出でになった若い卒業生の方々のご参加を歓迎致します。まずは、当会事務局に御一報くださるようお願い致します。

新副会長 **荒川 良雄**（中高4期）　新副会長 **石井 佳子**（小68・中11・高13期）

東京山桜会事務局　TEL&FAX 049-283-7343　荒川 良雄 方（中高4期）

結婚相談 仲人味置子（みちこ）

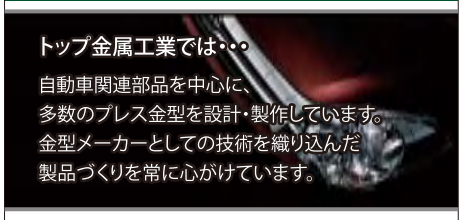
カウンセラー
池田 味置子

亡夫が追手門学院理事をさせて頂いた頃から始め、早くも30数年。このお仕事をして、多くの良縁をお世話いたしました。
初婚・再婚 ご良縁をお探しの方、まずはお電話ください。

〒532-0004 大阪市淀川区西宮原1-4-23-305号
電話番号：06-6393-2650
ファックス：06-6393-2670
e-mail michi-marriage@lake.ocn.ne.jp

池田 公利　茨高17期

トップ金属工業株式会社



代表取締役　林田 隆行
常務取締役　林田 栄三

■大阪本社
〒574-0056 大阪府大東市新田中町1-29
TEL(072)871-2550　FAX(072)871-7887

■島根・江津工場
〒699-2837 島根県江津市松川町上河戸390-19
TEL(0855)55-0567　FAX(0855)55-0587

林田 隆行　小72・中高15期
林田 栄三　小78期

赤松 英昭　小107期

第53回 東京山桜会　総会報告

佐伯 文子（大中高19期）

平成22年5月22日（土）、東京會館東商スカイルームにおいて第53回東京山桜会総会が開催されました。理事長、学院長をはじめ、大阪から各校の先生方、山桜会役員の方々にご出席頂き、総勢53名の参加で盛大に和気藹々と賑わいました。久しぶりに会った元気な顔に、皆な笑顔で話しに花を咲かせました。

大木理事長、竜田学院長、川原会長より、追手門学院の近況と将来の方針と改革のお話がありました。『オール追手門』という言葉がしきりに出ました。追手門学院のこれからは、幼稚園・小学校・中学校・高校・大学・大学院と一貫して教育していく『オール追手門生』を増やして、先輩後輩の関係も密にし、情報や生き抜く術を獲得し、社会に貢献し、社交的に円満な就職も困らない追手門生を育てていこうと改革計画を一生懸命述べられました。その為にも、小学校120年の人脈が重要であり、偕行社や追手門卒業生全体で就職活動にご協力いただきたいとのことでした。これからの世の中に勝ち残る手段として『オール追手門』の話に、皆様聞き入ってらっしゃいました。就職も困らなければ、ますます人気が出るし、親も子も安心して将来に希望をもてる学校になるなあと思いました。「大阪には伝統があります。“1回やってみなはれ!”ということばの伝統があります。皆様、どうぞご協力お願いします。」とのことでした。

東京山桜会では、今年役員が任期を終え、新しく役員が決まりました。会長は、山本英二氏から山根雅昭氏へ、副会長は、萩原正民氏・甲谷富佐子氏から荒川良雄氏・石井佳子氏になりました。荒川良雄氏は、事務局長も兼任です。どうぞよろしくお願いいたします。

記念講演は『オリンピックあれこれ』と題し、本間（元好）三和子氏（大中高27期）にお話いただきました。1984年ロス五輪でシンクロデュエット、ソロともに銅メダルを獲得され、今は日本水泳連盟理事シンクロ委員長、筑波大学大学院人間総合科学研究科准教授（専門：水泳競技方法論、コーチング原論）をされています。小さいころから姉さんと一緒に浜寺水練学校で水泳を習っていて、そこでシンクロを知ったそうです。昔から浜寺は水泳で有名であり、山本英二前会長曰く、日本は昔から水泳は強く、山本氏も古式日本泳法の野島流を習ったそうで、和歌山の伝統ある泳法があるそうです。本間三和子氏は、水泳をずっとやり、筑波大学6期生になり、先生から「シンクロの素質あるで」と自信をつけられ、「夏休みは大阪で水泳、筑波でシンクロ。競泳とシンクロ両方やれ。」「大学4年で卒業せなあかんと思うな。6年か8年かけてもやりたいことをやれ。」と言われたそうです。「いつも水泳、先生がいない時もなんでやらななんのやろ。」でも、大阪の夏休みの水泳、筑波でシンクロをどっちも止めなかった。オリンピック選手に選ばれた。新幹線の行き帰り、単位はぴったりで卒業。サクセスストーリーになった。デュエット、ソロで銅メダルを獲得。シンクロは身長が競技要素であり、世界は165 cmそれ以下1cmごとに1点減点されるそうです。聞いてびっくり!シンクロは、女の世界で、主観的な採点などありとのことです。オリンピックの後、世界の中で自分を考えるようになり、国際的に考えるようになり、「私は日の丸を背負っているんだ。」と日本人の誇りを感じるようになったそうです。「オリンピック終わって、自分はいったい何やろ?やっと7年かかって31歳で見つかる。それは、大学の先生とシンクロ先生を見つけたそうです。31歳で結婚。のびのび育ったので、人の指導的職業が嫌で、教育は嫌だったが、がんばってプロセスでここまで育った。「これは内容的にスゴイじゃないか!」と思い、「大学院に行ってもっと勉強したい。」と思い、「自分の考えを人前で発表するには大学院に行きたい。」と思い、大学院に行き、4年かかったそうです。31歳で「慣れていくと、よくなってくる。」を悟る。「シンクロは“私の天職や”と思えるようになる。」そして、シンクロのナショナルコーチになったそうです。「オリンピックの夢や希望に報いたい!!」やりがいがあるが大変である。今はスポンサー周り、やはり、お金が必要だそうです。なかなか難しいので、負のスパイラル。「一人では改革できない」ことと、「理不尽さにいかに耐えるか!」を10年間で悟る。「見た目きれいだが政治力だ」と悟る。「オリンピックはアマチュアであること」など、本間三和子氏は、お話してくださいました。会員から、ご主人やお子様はどうなさってらしたのですか?との質問に、ご主人も協力的で2人のお子様も小さいときから炊飯器にお米をしかけたり、家族の協力も素晴らしかったそうです。「感謝です。」とのことでした。横井貞弘先生は、本間三和子氏の担任だったことがあり、80mハードル13秒4の記録があるそうです。

産経新聞で「上町に学ぶ古都おおさか再生」大木理事長による「中之島から大手前のシンボルに」に幻の明治紀念標についてのプリントと、横井貞弘先生の“科学の足跡”天文・化学…華麗な系譜についてと、宮本直和先生の大阪城内の配水池“市民にもたらす命の水”についてのプリントや上海万博の案内パンフレットなど配られ、大阪城など懐かしい追手門学院を思いうかべ、皆様お話に聞き入ったり、楽しい会話に有意義に過ごされました。

猛暑が続きますが、くれぐれもお身体ご自愛下さい。

東京山桜会

平成23年 新年会・幹事会

一般会員歓迎!

日時　平成23年2月12日（土）
11時30分～14時30分

会場　横浜ベイシェラトンホテル　28階「ベイビュー」
☎045-411-1147　横浜駅西口（高島屋 隣）

会費　5,000円

第54回 総会・懇親会

大歓迎!

日時　平成23年5月21日（土）
11時30分～14時30分

会場　東京會館 「東商スカイルーム」
東京商工会議所ビル8F　☎03-3211-4851

会費　10,000円

問合せ先
東京山桜会事務局（荒川）
TEL&FAX 044-877-2138

追手門学院校友会

平成23年 山桜会 新年会

拝啓　時下益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。平素は山桜会の活動にご協力を賜りまして、厚く御礼申し上げます。

さて、毎年恒例の新年会をリーガロイヤルホテルにて行います。今回は、我が校卒業生主宰のスティールパンユニット「釣 千賀子 with フレンズ」による ≪カリブの風 スティールパン・ライブ≫ をお楽しみいただきたいと思います。

また、例年同様にお楽しみ大抽選会も予定しておりますので、皆さまお誘い合わせのうえご参加下さいますよう、心よりお待ち申し上げております。　敬 具

平成23年新年会実行委員会　委員長 **池田 賢八郎**（大中高47期）

日時 平成23年1月22日（土）
《受付開始》17:00《開場》17:30《開宴》18:00

場所 リーガロイヤルホテル
2階　山楽の間

会費 10,000円
（中・高・大学生 5,000円、小学生以下 無料）

カリブの風　スティールパン・ライブ　　釣 千賀子 with フレンズ

「スティールパン」はドラム缶から作られた楽器で、カリブ海に浮かぶ美しい島、トリニダードトバゴで生まれた「20世紀最後にして最大のアコースティック楽器の発明」と言われています。その姿からは想像もつかないほどミステリアスで、美しい音は、カリブの青い海と空の色を思わせて人の心を癒してくれる事でしょう。

釣　千賀子　〔スティールパン奏者・作曲家〕（茨高24期）

3才の頃よりピアノを習い始める。大学在学中よりエレクトーンプレイヤーとして活動をはじめ、ラジオ・テレビなどに出演。
卒業後はジャズピアニストとして関西を中心に活動。
2002年にスティールパンと出会い、鍵盤楽器から打楽器に転向。2008年にはファーストアルバム「Steeling Beat」2010年には「Vamos Viajar」を発表し、スティールパンの世界に新風を吹き込んだ。関西を代表するプレイヤーとして、コンサートはじめ学校公演、ワークショップ、イベントなど幅広く活動している。またオリジナルの楽曲はテレビやラジオ・ドラマなどにも使われ、スティールパンの魅力を多くの人々に伝えている。

期待に応える！ 大抽選会！

今回も、豪華賞品が目白押しです。又、会員諸氏からの提供品や協賛各社からの景品もあります。
皆様からの提供品も受付中！ 宜しくお願い致します。

チケット発売中

新年会会費の振込先：りそな銀行　大手支店　普通預金　0012199
追手門学院校友会山桜会（おうてもんがくいんこうゆうかいやまざくらかい）　会長　川原俊明（かいちょうかわはらとしあき）（名義）

追手門学院校友会山桜会事務局　**TEL 06-6940-3481**　ホームページ　http:www.yamazakurakai.com

第11回 山桜会 チャリティゴルフコンペ 報告

会員交流委員会　委員長 **前田 要之助**（小83・大中26期）

平成22年9月5日（日）、豊能郡能勢町アートレイクゴルフ倶楽部において山桜会主催の第11回山桜会チャリティゴルフコンペが行なわれました。山桜会会員及び小中高PTA関係等を交えた合計100名（うち、女性26名）の参加者がありました。幸い天候にも恵まれ、まだまだ残暑厳しいなか、1人のケガ人も出ることなく無事ホールアウトできました。

プレーは、同級生や先輩・後輩を交えて和気藹々と進行し、ゴルフ場にはない家族的な雰囲気で、あたかも同窓会総会が能勢の地へ移動してきたかと思わせるものがありました。また、数々の熱戦も繰り広げられ、珍プレー・好プレー続出のうちに4時過ぎには全員ホールアウト。コンペルームにて待ち時間の間、パターコンテストゲームを楽しみ、川原会長の挨拶の後、辻中副会長の乾杯の発声で、パーティに移り、和やかに親睦を深めました。熱戦の結果、男性の部で辻 幸さん、女性の部で下野裕子さんが見事優勝されました。ニアピンやドラコンなど数々の表彰や景品の受賞の後、一日の楽しい思い出と日焼けした笑顔をお土産に、解散となりました。また、参加者より参加費の一部を特定非営利活動法人「アダプテッドスポーツ・サポートセンター」にチャリティとして寄付させていただきました。
（藤村副会長より寄贈、感謝状を頂きました。）

優勝者の辻 幸さん▲

▲ 女性枠優勝者の下野裕子さん

このコンペの模様は、情報誌・月刊『GOLF&Golf（307号P106～107）』に紹介されておりますので、是非ご一読下さい。

最後に、ゴルフ場の黒川支配人と『GOLF&Golf』の出版社㈱カントリーライフ社と当日景品を寄贈いただきました皆様にこの場をお借りしてお礼申し上げます。